



広 報 資 料

平成31年1月30日

問い合わせ先

第一管区海上保安本部

海洋情報部 海洋調査課長 高梨泰宏

TEL 0134-27-0118 (内線 2530)

流氷の海を拓く

～巡視船「そうや」による海氷観測の概要説明を行います～

第一管区海上保安本部では、オホーツク海での海氷観測を実施しており、海上保安庁最大の砕氷能力を持つ巡視船「そうや」(釧路海上保安部所属 船長:田代英己)による観測は今年で39年目となります。

観測海域に向け出港前の巡視船「そうや」船上において2月6日(水)に報道陣向け観測概要の説明会を行います。

第一管区海上保安本部では昭和29年(1954年)より巡視船による海氷観測を実施しております。巡視船「そうや」による定常的な海氷観測は昭和56年(1981年)に開始し、今年で39年目となります。また、平成8年(1996年)から毎年、北海道大学低温研究所の研究者等も同乗して観測を行っております。

巡視船「そうや」による海氷観測は、人工衛星リモートセンシングが発達した現在でも現場でしか得られないデータがあること、また長い期間にわたり毎年ほぼ同時期にほぼ同海域で観測を実施していることから、オホーツク海の実態や海洋環境等を解明するための貴重な基礎資料となっています。海上保安庁の観測結果は海氷センターwebページにより公表しています。

今季の海氷観測のため観測機器を搭載し、オホーツク海に向け出港前の巡視船「そうや」船上において2月6日(水)に報道陣向け観測概要の説明会を行います。

1. 観測概要説明実施日時・場所

- (1) 日 時 平成31年2月6日(水) 午前10時～
- (2) 場 所 小樽港(岸壁決定後お知らせいたします)
巡視船「そうや」船上
- (3) 説明内容 巡視船「そうや」で実施する観測の概要

2. 海氷観測実施予定について

- (1) 観測海域
オホーツク海南西海域(宗谷岬付近～紋別沖～網走沖、別添資料参照)
- (2) 観測期間
2月6日(水) 13時45分出港 ～ 12日(火) 小樽港入港予定

(3) 主な観測内容

- ・ 第一管区海上保安本部
海氷の密接度、氷の種類、海水の流向・流速、水温、塩分濃度等
- ・ 北海道大学低温研究所
気温、氷厚、氷況、海氷・海水サンプリング、乱流エネルギー計測、ドローンによる海氷観測、ALOS-2 の検証観測等

3. 取材について

観測概要説明の取材を希望される社は、2月5日（火）12時までに広報・地域連携室まで連絡をお願いします。

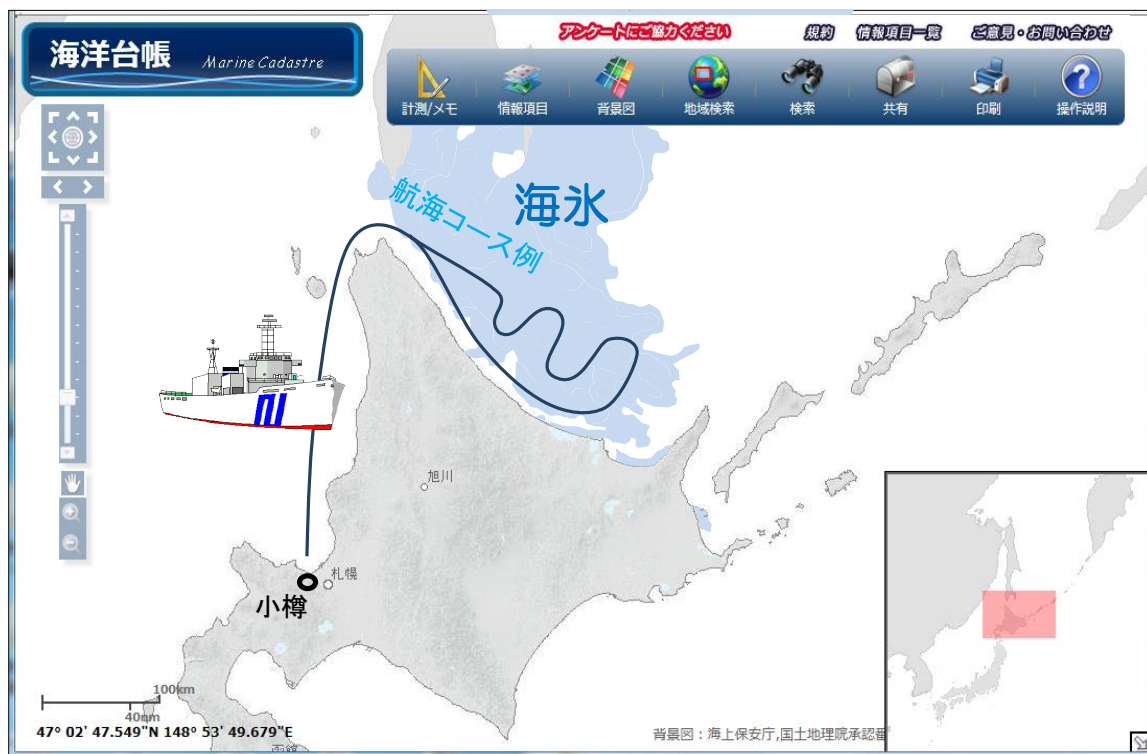
4. その他

一管区海上保安本部 海氷情報センターアドレス

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN1/1center.html>

巡視船「そや」による海水観測の海域及び観測について

観測海域



巡視船「そや」による第一管区海上保安本部による海水観測



巡視船そやによる海水観測



搭載航空機による海水観測



目視観測中の職員



流向流速計による調査



塩分水温計による調査①



塩分水温計による調査②